

令和2年度の活動

◆河川の状況調査◆



水質調査（大垣市生活学校）

- ・大雨の水害により岸辺の変化が見られた。（金山町生活学校）
- ・夏場は農業用水確保のため、堰が止められ、水がよどみ汚れていた。（四つ葉会）
- ・水中の酸素濃度を測る COD の測定値は環境基準の範囲内で良好であった。（岐阜市生活学校）
- ・吸い上げポンプの老朽化により論田川の水量が少ない。（論田川を美しくする会）
- ・水は比較的きれい。例年に比べ雑草が茂っていた。（各務原市生活学校）
- ・ポイ捨てのゴミが多く、生き物の姿が減った。（養老町生活と環境を考える会）

◆家庭生活で実践したこと◆

<台所>

○流しから調理くず等を流さない。（必須）

- ・食材を使い切る。（岐阜市生活学校ほか）
- ・三角コーナーや水切りネットの設置・使用。（清水川を愛する会ほか）
- ・生ごみはコンポスト等を利用して処分した。（美濃加茂市生活学校ほか）

○食用油は流さずに適正に処理する。（必須）

- ・キッチンペーパーや新聞紙にしみこませたり、固めて処分した。（岐阜市生活学校ほか）
- ・別容器にためておき、再度利用した。（清水川を愛する会）
- ・会員から食用油を回収し、バイオディーゼル燃料、EM せっけんをつくった。（養老町生活と環境を考える会ほか）
- ・リサイクルステーションで資源として出した。（美濃加茂市生活学校ほか）

○汚れのひどい食器等は洗う前からふき取る。（必須）

- ・キッチンスクレーパーを使用した。（北方町婦人会ほか）

- ・キッチンペーパー、古いタオル等でふき取る。(美濃加茂市生活学校ほか)

○米のとぎ汁をそのまま流さない。(任意)

- ・花・庭木の水やりに利用した。(養老町生活と環境を考える会ほか)

○台所の洗剤は適量使用する。(任意)

- ・アクリルたわしを使用した。(金山町生活学校ほか)
- ・水で薄めて使用している。(四つ会ほか)
- ・天然の石けんを使用。(可児市めだかの楽校)
- ・食用油で作った EM 石けんを使用した。(養老町生活と環境を考える会)
- ・洗剤容器に表示されている適正量を守った。(美濃加茂市生活学校ほか)

<洗濯>

○選択洗剤を適量使用する。(任意)

- ・必要以上の洗剤を使わないよう、その都度量を確認した。(四つ葉会ほか)
- ・洗濯物をまとめて洗濯回数を減らした。(各務原市生活学校)
- ・廃油固形せっけんを汚れの酷い部分に使用し洗剤を少量にした。(養老町女性会議)

○洗濯・その他。

- ・風呂の残り湯を再利用した。(可児市めだかの楽校ほか)

<風呂場>

○石鹸、シャンプー、リンスを使いすぎないようにする。(任意)

- ・手で泡立てて使う。(金山町生活学校ほか)
- ・天然の石けんを使用した。(可児市めだかの楽校)
- ・使い過ぎないように心がけた。(美濃加茂市生活学校ほか)

○風呂場・その他。

- ・シャワーを使いすぎない。(金山町生活学校ほか)
- ・風呂洗いは廃油石けんを使用した。(中津川市生活学校)
- ・太陽光温水器を利用した。(大垣市生活学校)
- ・大きめに作ったアクリルたわしで風呂場掃除をした。(各務原市生活学校ほか)
- ・風呂水は洗濯や掃除に使用した。(可児市生活学校ほか)

◆普及啓発活動◆

- ・中川・杭瀬川合流点(広海橋下)で川の清掃を行った。雨天時は、たくさんのゴミが流れ、そのごみが海に流れつき、汚すことを地区の方に伝えゴミ拾いをした。(四つ葉会)
- ・地元まちづくり協議会と合同で河川調査を実施し、結果を公表した。(中津川市生活学校)
- ・市民環境フェスティバルで展示・啓発をした。(内容:「マイクロプラスチック」、「考えて生活排水」)。(大垣市生活学校)

- 毎月の定点観測(可児川)の中で、参加者による清掃活動を行った。(可児市めだかの楽校)
- 毎月第2月曜日に近辺にある糸貫川の草取り、清掃をした。年に3回、北方西小学校4年生の子供たちと一緒に草取り、清掃を行った。(北方町婦人会)
- 天ぷら廃油を235L回収し、EM石けん37.5L、バイオディーゼル燃料197.5Lに使用した。(養老町生活と環境を考える会)
- 家庭から排出される廃食油は、市内50か所に回収場所に設置し、第5水曜日に回収した。(土岐市生活学校)